

iSHARE

2022

May

Management Information

- ・ IT導入に利用できる補助金 / 助成金

Special Feature

- ・ デジタルワークスペースを実現する Cisco Meraki 第1回
「Merakiとは？」

About INFINITY / improve

- ・ スタッフの紹介 (倉地 優斗)
- ・ 便利なZoho機能紹介 : Zoho Bookings

Technical Information

- ・ 今さら聞けないデジタルトランスフォーメーション (DX)

新しいインフィニティへ

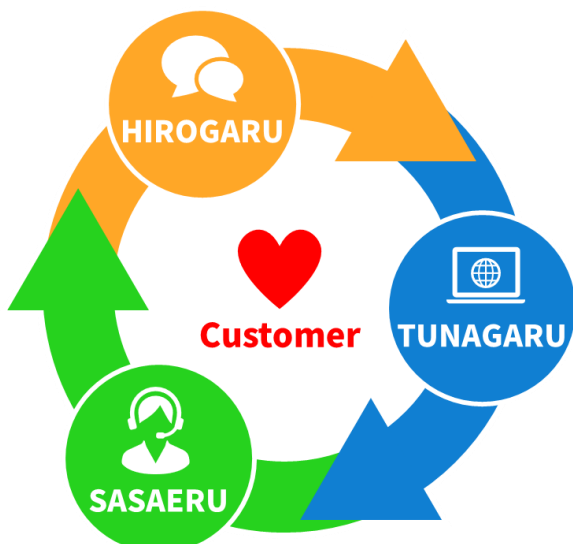
2022年も後半に差し掛かりつつありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？コロナ禍で初めて緊急事態宣言もまん延防止も実行されないゴールデンウィークが過ぎ、コロナは少しずつ、やっと日常化してきたように感じます。私の周りでも徐々に対面や会食の機会が増え、久しぶりにゆっくりと顔を合わせて様々な話題を話し合う時間や新しい出会い等が増えていくことに懐かしさと新鮮さを感じています。

ですが、社会情勢は不安定なまま、様々なモノの物価が上がってきています。インフィニティが提案しているMicrosoft365も初めてプラン変更以外で値上げがされます。インプルーブが提案しているZohoも値上がりが予定されています。企業としてもしっかりと戦略を立てて臨まないといけないと改めて実感しました。弊社としても以前の機関誌で共有しました中期戦略の採用計画がうまく進まず、方向転換を余儀なくされています。

ありがたいことにインプルーブとしてコンサルティングをさせていただいている、たくさんのお客様と戦略を立て、経営/営業/業務面それぞれの視点からIT活用を実現していく機会をいただいています。もっとお客様を知り、インフィニティでもネットワークやサーバーなどの一面だけではなく、企業の成長を支えるIT戦略から力になれるように、社員全員で尽力をしなければいけないと感じています。

そこで2022年9月から15年目を迎えるインフィニティでは、

- ①HIROGARU：中小企業が実現できるマーケティングオートメーションの実現
 - ②TUNAGARU：クラウドを基盤としたデジタルワークプレイスの実現
 - ③SASAERU：保守サポート（現状維持）から運用サポート（改善）へ
- をテーマに中小企業の成長に貢献できるパートナーとしてサービスを強化していきます。



また、コロナ禍で中止していたセミナーやサロンも復活していきたいと考えています。

シンクライアント/サポートのイメージから一歩飛び出し、お客様へデジタル/ITの活用支援をするインフィニティへ。

お客様との対話や交流の機会を増やし、お悩みや抱えている課題を伺いながらご提案をまいりますので、2022年後半も何卒よろしくお願い致します。

株式会社 インフィニティ/インプルーブ
代表取締役社長 大畑 祐貴

以前は利用しやすかったテレワーク助成金。残念ながら大きなIT投資に関わる助成金はなくなりましたが、2022年もIT投資に利用できる補助金や助成金がありますので、ご紹介します。

(1) 2022年 IT導入補助金

生産性を上げるためにソフトウェア/クラウドを導入する企業が利用できるIT導入補助金。補助対象となる経費の総計に対し、1/2 または 2/3 または 3/4 (30万~450万円) まで補助される制度です。

・補助対象者

中小企業・小規模事業者等

(飲食、宿泊、卸・小売、運輸、医療、介護、保育等のサービス業の他、製造業や建設業等も対象)

通常枠 (A・B類型)

・補助対象経費

ソフトウェア費、クラウド利用料
(最大1年分補助)、導入関連費等

・補助金の上限額・下限額・補助率

補助額：A類型 30万~150万円未満

補助額：B類型 150万~450万円以下

補助率 1/2以内



デジタル化基盤導入枠 (デジタル化基盤導入類型)

・補助対象経費

ソフトウェア購入費、クラウド利用費 (最大2年分
補助)、ハードウェア購入費、導入関連費等

・補助金の上限額・下限額・補助率

補助額 5万円~350万円

補助率 3/4以内 ~ 2/3以内

ハードウェア購入費については以下の通り
PC・タブレット・プリンター・スキャナー及びそ

れらの複合機器：

補助率1/2以内、補助上限額10万円

レジ・券売機等：

補助率1/2以内、補助上限額20万円

インフィニティでは、HubSpot (マーケティングオートメーションツール) が適用可能です。

イングループでは、Zoho One (顧客管理や業務管理等) が利用可能です。

ライセンス費用 & 導入支援費用 & 1年間分のコンサルティング/サポート費用が対象になります。

ご興味がある方は営業まで是非ご連絡ください。

(2) 人材確保等支援助成金（テレワークコース）

テレワークを制度として導入する企業に対して適用される助成金です。2021年12月から新規に導入する企業以外にも、試行的に導入していた企業も対象となりました。

	支給要件	支給額
① 機器等導入助成	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たに、テレワークに関する制度を規定した就業規則または労働協約を整備すること。 ● テレワーク実施計画認定日以降、機器等導入助成の支給申請日までに、助成対象となる取組を1つ以上行うこと。 ● 評価期間（機器等導入助成）における、テレワークに取り組む者として事業主が指定した対象労働者のテレワーク実績が、次のいずれかを満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 評価期間（機器等導入助成）に1回以上対象労働者全員がテレワークを実施する 又は ✓ 評価期間（機器等導入助成）に対象労働者がテレワークを実施した回数の週平均を1回以上とする ● <u>テレワークの実施促進について企業トップ等からのメッセージ発信を行うなど、労働者がテレワークを実施しやすい職場風土作りの取組を行う事業主であること。</u> 	<p>支給対象経費の30%</p> <p>※以下のいずれか低い方の金額が上限額 ・100万円 又は ・20万円×対象労働者数</p>
② 目標達成助成	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価期間後1年間の離職率が、計画提出前1年間の離職率以下であること。 ● 評価期間後1年間の離職率が30%以下であること。 ● 評価期間（目標達成助成）に、1回以上テレワークを実施した労働者数が、評価期間（機器等導入助成）初日から1年を経過した日における事業所の労働者数に、計画認定時点における事業所の労働者全体に占める対象労働者の割合を掛け合わせた人数以上であること。 	<p>支給対象経費の20%（35%）</p> <p>※以下のいずれか低い方の金額が上限額 ・100万円 又は ・20万円×対象労働者数</p>

※（）内は生産性要件を満たした場合に適用

(3) 小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が販路開拓に取り組む経費の一部を補助する制度です。



類型	通常枠 (現行)	特別枠(新設)				
		賃金引上げ枠	卒業枠	後継者支援枠	創業枠	インボイス枠
補助率	2/3	2/3 (赤字事業者については3/4)	2/3			
補助上限	50万円	200万円			100万円	

人材確保等支援助成金（テレワークコース）は社会保険労務士さんにご相談ください。

小規模事業者持続化補助金は中小企業診断士さんにご相談ください。

IT投資は先に繋がる投資です。補助金や助成金をうまく利用しながら導入していきましょう！

リモートワーク / テレワーク / ハイブリッドワーク など、様々な場所から仕事を行うようになった現在、いつでもどこからでも同じ環境で快適に働け、生産性を高める仕事空間であるデジタルワークプレイス (DWP) が求められています。前回の機関連誌で紹介をしたゼロトラストを実現しながらデジタルワークプレイスを構築できるCisco Meraki (シスコ メラキ) シリーズを4回にわたって特集をしていきます。

第1回 : Meraki とは?

第2回 : Meraki MX (UTM) & MR (無線AP)

第3回 : Meraki MS (スイッチ) & MDM (モバイルデバイスマネジメント)

第4回 : Meraki と Cisco Umbrella の連携

Cisco Meraki とは?

Cisco Merakiは2006年に設立され、2012年にCiscoの傘下に入った、100%クラウドで管理を行うネットワーク機器 (UTM/無線AP/スイッチ/MDM) のソリューションメーカーです。

あらゆる機能を備えたクラウドマネージ型 ネットワーキング ソリューション

- > アクセスポイント、セキュリティプライアンス、イーサネットスイッチ、モバイルデバイス管理、セキュリティカメラ、WANパフォーマンスの可視化、セルラゲートウェイ、IoTセンサー。
- > 総合的なハードウェア、ソフトウェア、クラウド サービス。

クラウドマネージ型 ネットワーキングのリーダー

- > シスコで最も急成長を遂げているポートフォリオの1つ。
- > 年間成長率 100% 以上。
- > 世界中で数千万台のデバイスが接続。



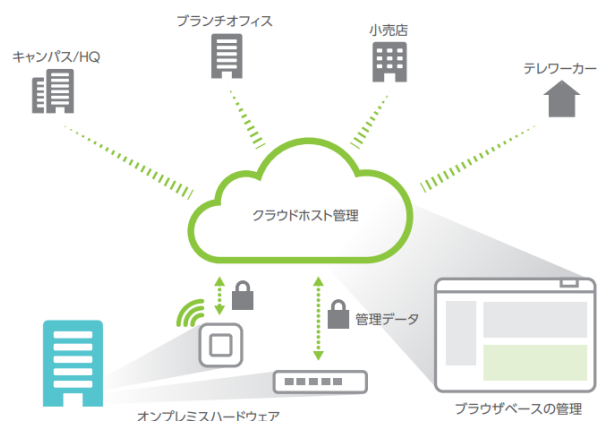
Cisco Merakiのネットワーク機器は、すべてがクラウド上で管理され (管理データのみ送信)、セキュリティやパフォーマンスには影響を与えません。1台からすべての機能を利用することができ、通信の可視化やリモート監視、アラート、自動アップデート、柔軟な拡張などが管理サーバー/機器がなくても実現が可能になります。

セキュリティ

- > ユーザトラフィックはクラウドを通過しない。
- > HIPAA/PCI に完全準拠 (レベル 1 認定)。
- > 第三者機関によるセキュリティ監査、日々の侵入テスト。
- > ユーザスケジュールによるファームウェアやセキュリティの自動アップデート。

高い信頼性

- > 複数のデータセンターを持つ高可用性クラウド。
- > クラウドへの接続が中断されてもネットワークは稼働。
- > 稼働時間99.99%を保証するサービス品質保証。



何が便利になるの？

1つのダッシュボードですべてのネットワーク機器管理ができるため、本社/拠点も含め、一元管理が可能になります。

無線アクセスポイントなどは、LANに繋げるだけで、クラウドダッシュボードと接続されるため、リモートによる設定が可能になります（ゼロタッチ導入）。

接続されているアクセスポイントの接続状況も一覧で把握でき、ネットワークの安定性、セキュリティ強化を一緒に行うことが可能になります。



【運用管理】

- ✓ ネットワークの正常性確認
(死活監視やステータス管理)
- ✓ 管理者へのEメールアラート
- ✓ 概要レポートの作成
- ✓ パケットキャプチャを含む各種ツール
- ✓ イベントログ収集
- ✓ アップデートのスケジューリング
- ✓ トポロジマップの自動作成

【データ分析と利用制限】

- ✓ 利用アプリケーション分析
- ✓ クライアント別データ量分析
- ✓ アプリケーション利用制限
- ✓ 帯域幅利用制限
- ✓ 認証サーバ機能(無線&リモートアクセス用)
- ✓ ヒートマップ
- ✓ ロケーション分析
(無線クライアント数/滞在時間/頻度を表示)

Meraki製品のライセンス

Meraki製品の利用には必ず機器本体と同じ数のクラウド管理ライセンスが必要です。



クラウド管理ライセンスには下記のサポートが含まれます。

- 中央管理、ネットワークの可視化とコントロール
- 最新のファームウェアやパッチが自動バージョンアップ可能
- 電話およびメールによるメーカーサポート

デジタルワークスペースを実現するクラウド基盤のCisco Meraki（シスコメラキ）を利用することで、会社のネットワークを一つ上のレベルにアップグレードすることが可能になります。

次回は「第2回 : Meraki MX (UTM) & MR (無線AP)」と題して、ネットワーク通信に対するセキュリティを強化できるUTM（統合脅威管理 : Unified Threat Management）と、社内ネットワークの要、無線アクセスポイントをご紹介します。

Cisco Merakiにご興味を持たれましたら是非、営業までご相談ください。



今回は、久々のスタッフ紹介をしたいと思います。
YouTubeのスタッフ紹介動画にも登場しているササエルスタッフの「倉地優斗」を紹介します。

前職では、社内のIT管理者をしており、サーバやパソコンに関して知識がありましたので入社時は即戦力として大きな期待を背負っておりました。まだ20代の若手なので、最初は、“最近の”若者かと思いましたが、しっかりしていて意外と古風なところもあるんですよ。今後も大きな伸びしろを感じるインフィニティ期待のエースです。

もうすぐ入社して2年が経ちますが、ササエル業務はどうですか？もう慣れましたか？

入社してすぐは、電話対応に慣れずお返事がうまく出てこなくて、お客様に不安な印象を与えていたと思います。今でも言葉を間違える（苦笑）ことはたまにあります。以前よりもすんなり出てくるようになりました。

前職では、社内のシステム担当をしていたので技術的な基礎知識はありましたが、インフィニティではお客様一社一社で異なる環境ですので、お問い合わせをいただいたお客様がどういう環境になっているのかを把握するまでに時間がかかりました。今では、会社名を言われれば「こういう設定だったな」とある程度記憶できていますので、お問い合わせの対応もスムーズにできるようになってきました。

どんな時にやりがいを感じますか？

やはり、「ありがとう」と言われた時の充実感は大きいですね。お客様の問題がすんなり解決して、業務への支障が少なく済んだ時に言われる「ありがとう」は嬉しいです。

お客様に時間を頂いて何日もかけて解決できた時もやりがいを感じます。時間を頂いている分、お客様にはご迷惑をかけてしまうのですが、解決できるか不安を感じながら取り掛かるので達成感がありますね。当然、ササエルメンバーにも協力してもらおうのですが、解決に向けての一体感がいいです。

今後の目標は？

まだまだ、技術にしても電話対応にしても学ぶことは多いのですが、どんなことでも解決できるようになりたいです。社員紹介動画でも話したのですが、お客様からも同僚からも「倉地に任せれば大丈夫！」と言われるのが目標です。

そのために、日々たくさん経験をして、実績を作っていきたいです。

「お客様のIT課題解決の一翼を担えるようがんばりますので、よろしくお願いします！」

倉地の紹介動画をYouTubeにて絶賛配信中です。
プライベートな話もしてるので、ぜひ見てください。
YouTube → [インフィニティ社員紹介：倉地優斗](#)



オンラインの打ち合わせが増えていく中で、一番大変なのが「スケジュール調整」です。空き日程を数日候補で相手に送っても、返信されたタイミングでは埋まっているということ、よくありませんか？そこで便利なのが『オンライン予約ツール』です。コロナ禍で急激に増えたインサイドセールス（主にオンラインで営業を行う）がよく利用しています。

Zohoでは、オンライン予約管理ツール『Zoho Bookings（ゾーホーブッキングス）』が利用できます。弊社でも利用していますが、これが非常に便利！リンクをメールで送るだけで、自分の空き時間から相手が都合のよい日程を選んで打ち合わせ予約を行ってもらえます。さらに、そのリンクを署名欄に入れておけば毎回リンクを入力する手間もなく、楽ですよ。



ミーティング予約

下記からミーティングタイプを選択し、表示されている日時から予約が行えます。

ミーティング	
オンライン：無料相談	1時間
オンライン：お打ち合わせ	1時間30分
オンライン：コンサルティング	2時間

日付&時間

5月 2022

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

枠の利用可否

10:00	10:15	10:30	10:45
11:00			

空き時間を確認、選択

Bookings

本日のミーティング、よろしくお願ひ致します。
No: IN-00013
カテゴリ: オンライン:お打ち合わせ
開始日時: 17 May 2022 14:00 (Asia/Tokyo GMT +09:00)
終了日時: 17 May 2022 15:30 (Asia/Tokyo GMT +09:00)
スタッフ: 大畑 祐貴
ミーティング URL: <https://meet.zoho.com/ZktNIW6lSM>
間違えて予約した場合、「%予約の概要:invoicesummaryurl%」から変更 / キャンセルを行うことが可能です。

株式会社インフィニティ yuki-oohata@infinity-ico.jp
Powered by INFINITY

予約が行われると、日程とオンラインミーティングURLがメールで相互に送られます。
日程が近づくとリマインドが送られます。

自分のリアルタイムな予定を共有し、予約してもらうことが可能なオンライン予約管理ツール「Zoho Bookings」。オンラインミーティングURLも自動的に作成され、送信の手間も省けますし、リマインドが送られるため、お互いに打ち合わせを忘れることがありません。皆様も予約管理ツールを利用してみてはいかがでしょうか？

Zohoにご興味を持っていただいた場合は是非営業までご連絡ください。

今さら聞けないデジタルトランスフォーメーション（DX）

Technical Information

～ DXの定義 ～

デジタルトランスフォーメーション（DX）とは、もともと2004年スウェーデン・ウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱した「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」ことと定義されています。



※デジタルトランスフォーメーションの英語表記は「Digital Transformation」で、略称は「DT」ではなく「DX」。DXの理由は、「Trans」を「X」と略すことが一般的な英語圏の表記に準じているためです。

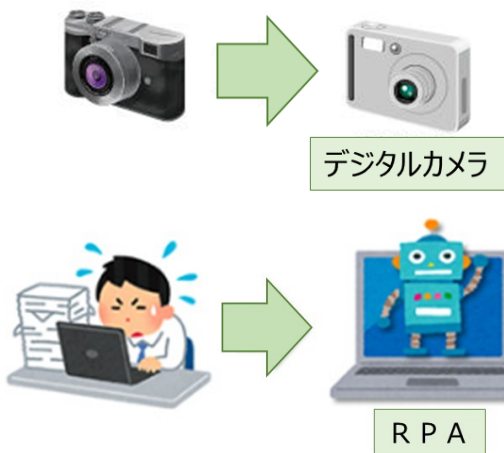
～ デジタイゼーション（IT化）とDXの違い ～

デジタイゼーションが、デジタル（IT）技術によって現在あるモノや仕組みを進化させ、業務を効率化をすることを目的としているのに対し、DXはそれを手段として、変革を進めることを意味しています。つまり、RPA（Robotic Process Automation）を利用し、人間が行っていたアナログ作業の一部をデジタルに置き換えることだけでは、単なるデジタル化・自動化に過ぎません。

RPAを戦略的に導入し、より付加価値の高い業務へ人材をシフトして、RPA活用の先にある働き方改革や新たなビジネス開拓をすることこそが、DXと言えます。

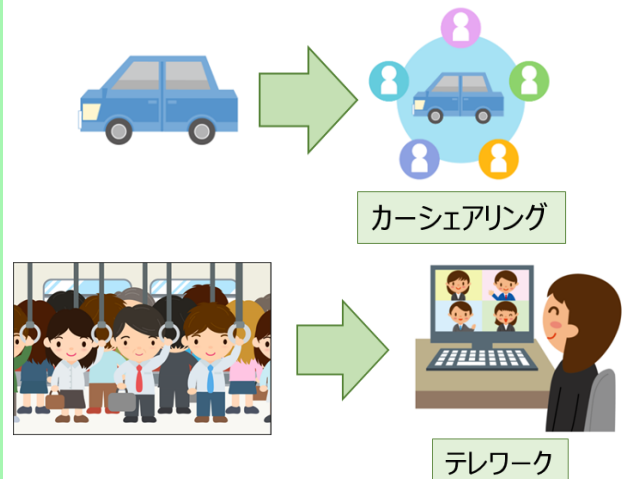
デジタイゼーション（IT化）

デジタル（IT）技術を活用して、既存製品の付加価値を高めたり、業務の効率化を実現



デジタルトランスフォーメーション（DX）

デジタイゼーション（IT化）を活用し、経営や事業のあり方を変革、働き方を改革



～ DXに取り組むべき理由とは ～

ではなぜ現在の日本企業には、DXの推進が求められているのでしょうか。

「2025年の崖」

日本企業の多くのITシステムは、システムの肥大化・複雑化、技術面の老朽化、ブラックボックス化が進んでいて、古い技術でシステム構成されているため、故障すると代替がきかない、対応できる技術者がいない、システムが複雑でドキュメントも整備されておらず調査に時間が掛かる、運用・保守が属人化しているなどの問題を抱えています。

人間社会が豊かになる革新をもたらす言葉ですが、**ビジネス面では近い将来までに企業が解決すべき課題**と認識されています。時代の流れに取り残されてしまうのか、テクノロジーの進歩とともに新たな時代へと邁進していくのが企業にとっての分岐点になる取組みとなるでしょう。

とはいえ、経営層や管理者だけで片付けられるものではありません。**自社の経営戦略を強固にし、社内の協力を得て全社一丸となって取り組むことが重要**となります。



iPhone 「声を分離」

iPhoneに「マイクモード」という機能があるのをご存じですか？AIを使って、相手に聞こえる音声を加工します。iOSが15以降、かつXR以降の機種はマイクモードを「標準」、「声を分離」、「ワイドスペクトル」と選べるようになりました。「声を分離」を選択すると、声以外の音を分離してくれます。トイレに入って通話してもトイレの音は相手に聞こえないとか。通話中に幹線道路沿いを歩いても車の音は入らないです。ただし、テレビの声など声と判断されるものは入ってしまうようです



設定方法は、通話中にコントロールセンター（右図）を開き※ます。（※コントロールセンターを開くのは、画面右上から下へスワイプします。）右上にある「マイクモード」を選択します。

「マイクモード」は3種類選べます。左に「✓」がついているものが選択されているモードになります。ワイドスペクトルモードは、「声を分離」とは逆に周囲の音をすべて拾うモードです。何かの実況中継をするようなときはこのワイドスペクトルモードが向いているのかもしれませんがね。

ただし残念なことに、電話回線を使った通話ではこのマイクモードは使えません。

ノイズキャンセリング機能と併せ、マイクモードを使いこなすと、通話やネット会議などを快適な環境で行えます。ぜひ、お試しください。

2022

May

i SHARE

編集・制作

安藤 玲子

あとがき - Editor's Note

ゴールデンウィークも終わり、夏が増えてきました。気象庁の発表ですと、今年は「ラニーニャ現象」が続くとかで、梅雨入りが早く、気温も高くなるそうですね。私は、暑いのが苦手なので、今から不安です。もはや「暑い」ではなく「熱い」です（笑）。

昨年の11月から初めたウォーキング、最近は1万歩歩いても、足裏が痛くなくなりました。約半年を振り返ると、やっぱり寒い日はサボりがち。今は暖かくなりましたが、一生懸命歩いても汗をかかないくらいの気温がいいですね。と考えると、暑いと予想されているなら夏もまたサボりがちになっちゃうかな…汗をかいた後のシャワーの気持ちよさも捨てがたいと思って続けられるかな。いや、歩いた後の一杯か！暑いときはビールが美味しいですからね。